

第 8 次 韮崎市総合計画策定に向けた

調査報告書

～ 中高生懇話会 編～

1 中高生懇話会の概要

目的

- 韮崎市の最上位計画「韮崎市第8次総合計画」の策定に向け、中高生の視点やアイデアを知る機会のひとつとして、中高生の暮らしや課題について、課題やニーズ等生の意見を聞き出す場とし、若者支援施策や共創の可能性の検討に活かすため、開催しました。



開催日程

開催日	テーマ	開催場所	参加人数
令和8年2月17日	<u>「にらさき学生アイデア会議～韮崎の未来の話をしよう～」(中高生対象)</u> ・韮崎ってどんなまち(どんなところが好き?困っていることは?) ・どんなまちなら住みたい(居場所づくり・活躍できる場作りなど)	青少年育成 プラザ Miacis	11人
その他懇話会↓			
令和8年2月7日(土)	「まちと私のちょうどいい関係」(女性対象) ・今の韮崎市の困り事、その原因と理由 ・未来に向けたアクション	ニコリ1階 会議室6	
令和8年2月13日 19:00～21:00	<u>「若者が“働く・暮らす”をリアルに考える」(若者対象)</u> ・若者の市内定着と回帰 ・郷土愛の醸成 など	市役所別館 301 会議室	



参加者

市民ワークショップの参加者は、一般公募により募集を行い、**市内在住や市内の学校に通う中高生**によって構成されました。

当日の流れ

開会

懇話内容① アンケート結果の深堀

懇話内容② 未来へのアクション

閉会

- 韮崎市開会挨拶
- アイスブレイク



- アンケート結果の提示



- アンケート結果を踏まえ、いま陥っている状況、またその原因や理由を深堀り



- 個人の「やりたいこと・得意なこと」を入口に、どんな未来が良いか、自分なら何ができるか意見交換



- 意見のまとめ



2

中高生懇話会の結果

好きなこと・困りごと	未来に向けたアクション
<p>【好きなこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 自然と生活環境: 自然が豊かである。駅周辺にスーパーがあり生活しやすい。小さい頃から暮らしていて不便だと感じる事があまりない。 ▪ 交通アクセス: 特急ですぐ東京に行ける、駅が明るいなど、アクセスの良さが評価されている。 ▪ 子ども・若者の居場所: 「ニコチビ」や「ミアキス」など、子どもや若者向けの場所が用意されている。安全に遊べる公園がある。中学生がニコリを使える。 ▪ 多様性とコミュニティ: 外国人が多く、共に暮らす(多文化共生)土壌がある。祭りやイベントで幅広い年代が集まる。お年寄りが今も元気に活動している。 <p>【困りごと・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 娯楽・居場所の不足: 中高生が同年代と遊ぶ場所(プリクラなど)が市内にない。ニコリにカフェ的な場所がなく、目的がないと行かない。ライフガーデンに焼き鳥などのキッチンカーがほしい。 ▪ 交通・インフラの不便さ: 中学生の移動手段が不便であり、バス路線の減便が困る。駅から少し離れると暗くて怖い。 ▪ 地域ごとの格差: 市の中心部は栄えているが、神山町など離れたところに住む高齢者(祖母など)は買い物に不便であり、移動スーパーの復活が望まれる。特大スーパーがなくなって不便になった。 ▪ スポーツ環境: サッカー場をもっと増やしてほしい、マイナー競技の施設がない、家の近くにスポーツ少年団がほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ▪ 若者目線の情報発信: 中高生が中心となり、得意なSNSを活用して韮崎の魅力(カフェやイベントなど)を市外・県外の若い世代に発信する。 ▪ イベントの企画・運営: 市内で音楽フェスやスポーツ大会(バレーボールなど)を企画する。既存のイベント(花火大会など)に屋台を増やすなどしてさらに盛り上げる。 ▪ 中高生の活躍の場づくり: 大きなイベント(すずらん祭りなど)で、軽音部の発表や出店など、中高生の発表の場を作る。 ▪ 多世代・多文化の交流: 小学生や様々な年齢層と交流する。幅広い世代での農業体験や、ニコリでのスポーツを通じた世代間交流を行う。アメリカ、インド、オーストラリアなどの国際交流や、「やさしい日本語」を用いて外国人が住みやすいまちにする。 ▪ アート・空間活用: 空き家やシャッターへのアート、大きいキャンパスへの絵画制作、高架下など今ある場所を活用したイベントを実施する。 ▪ 地域への恩返し: ニコリでのボランティアや、市内のイベント運営ボランティアに参画する。

3 アンケート結果

1 中高生懇話会満足度(単一選択)

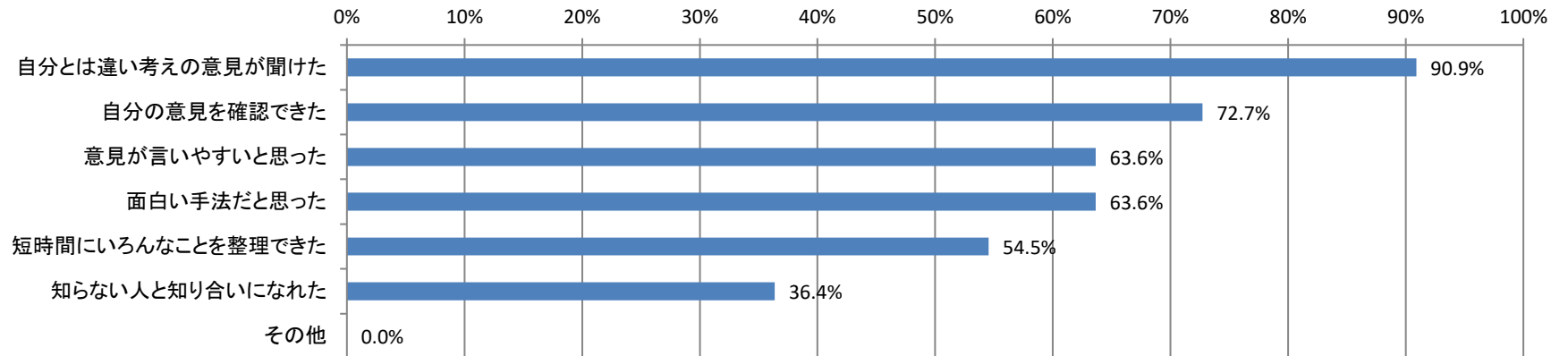
総数	11	100.0%
よかった	11	100.0%
まあまあ	0	0.0%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
その他	0	0.0%

2 中高生懇話会参加によるまちづくり参画意欲の変化(単一選択)

総数	11	100.0%
大いに高まった	6	54.5%
高まった	5	45.5%
変わらない	0	0.0%



1 中高生懇話会の手法について(複数選択可)



言いそびれたこと今後の要望など

- 中高生が中心になって活動する SNS での発信があれば、市外・県外の若い人たちに魅力を伝えられると思った。SNS 運用は中高生が得意なので、今らしい発信ができそう。
- 中高生だけでなく小学生の意見も聞いてみたい。もっと様々な年齢層の方と交流したい。
- 市外在住だが葦崎を好きになれており、この懇話会でさらに好きになれた。遊べる所が増えると嬉しい。ライフガーデンに焼き鳥などのキッチンカーがほしい。
- 小さい頃から葦崎で暮らし不便を感じなかったが、他の人の意見に納得することが多かった。大型施設の導入やアクセス改善がまちづくり発展のきっかけになると感じた。他の年齢層の意見も取り入れると良い。
- 高校生が SNS で“高校生目線”の情報発信(カフェやイベント紹介)、大きなイベントで中高生の発表の場(軽音部、出店など)、“やさしい日本語”で外国人が住みやすいまちへ、・ニコリ自習室の受付を簡単に(紙記入が大変)
- 神山町など離れた地域では不便さを感じる人がいる。移動スーパーが再開されると良いと思った。
- 今回の意見がまちづくりや政策に反映されると嬉しい。少子高齢化の中、誰もが暮らしやすいまちにするには若い世代の行動が大切だと実感した。
- 中高生参加型の懇話会を定期的を開催することで、地元を考える機会が増え、地域活性化にもつながると感じた。
- 特になし
- 自分がまちづくりの一員であると再認識できる楽しい懇話会を開いてくれてありがとう。
- 特になし。みんな自分の意見をしっかり持っていてすごいと思った。自分にはない考えを知れて良かった。

模造紙

